

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 16号)

2021年 2月25日発行

兵庫のみ研究所

西部沿岸域においてキートセロスやスケルトネマ等数種の珪藻が確認されましたが、それ以外の海域では少し見られる程度で海域全般に発生量は少ない状況にあります。今回調査は上げ潮時でしたが明石海峡周辺海域の窒素が低下していることもあり、その海水の影響が見られた二見東部以東では全般に1.5 $\mu\text{g-at/L}$ 、西部域では1 $\mu\text{g-at/L}$ 以下の値でした。

(水温) 漁場内平均9.6 $^{\circ}\text{C}$ 。昨年比1.0 $^{\circ}\text{C}$ 低く、平年より0.7 $^{\circ}\text{C}$ 高い。(塩分) 平均31.92psu。前回(31.64)より約0.3psu高い。
 (栄養塩、珪藻) キートセロスやスケルトネマ・リゾソレニアが二見西部～高砂の沿岸域でやや多く確認されたが、前回(2/20)調査と比較し少ない状況。ユーカンピアは別府・高砂で海水1mlあたり90細胞前後、その周辺域で50細胞前後と増加は認められない。2/22の大阪湾全域調査において、湾西部(神戸市地先や淡路東浦海域)の窒素が1 $\mu\text{g-at/L}$ 台となっており、その影響から明石海峡周辺海域の窒素も低下している。
 気象情報によると気圧の通過に伴う降雨予報が出ています。栄養塩の供給となるような、まとまった降雨が望まれます。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	8.8	9.6	8.9	10.6
窒素	2.2	1.6	2.7	3.4
リン	0.36	0.32	0.30	0.41

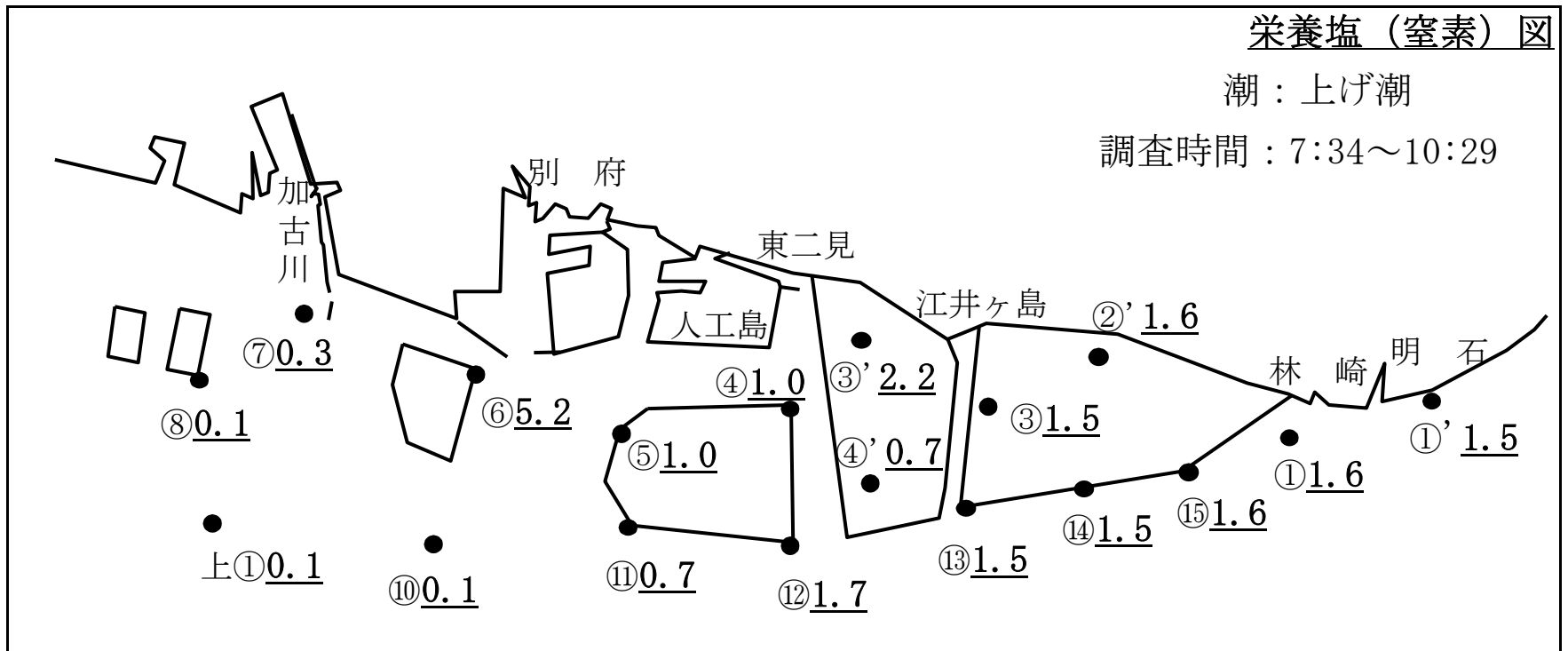
(2/20) (2/28)

2021年 2月25日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：上げ潮

調査時間：7:34～10:29



水温図

